

構造物・地盤の地震被害と対策

1. **担当教員**：山田正太郎 教授 022-795-7126, shotaro.yamada.d2@tohoku.ac.jp
加村晃良 准教授 022-795-7433, akiyoshi.kamura.a4@tohoku.ac.jp
2. **初回日時**：10月1日（火）16:40から
※ 2回目以降は集中的に開催予定。日時は相談のうえ決定。
3. **集合場所**：建築・社会環境工学科 人間・環境系教育研究棟 (F01)
401号室（地圏・地盤工学研究室）

周知の通り，日本は地震発生地帯に位置しています．毎年のように日本のどこかで地震による被害が発生しています．本講義では，シンプルな実験とシミュレーションを通して構造物および地盤の揺れ方の特性を把握するとともに，如何にして地震による揺れから被害を免れるか考えます．構造物の共振とは何か？地震波の特徴は如何にして把握すればよいのか？地震による地盤災害としてどのようなものが挙げられるのか？それはなぜ起こるのか？構造物や地盤を地震による揺れから守るためにどのようなことを行えばよいのか？座学・実習・文献調査・意見交換を交えながらこれらのことについて考えます．



液状化により地表に飛び出したマンホール